

■学内共同教育研究施設

施設	設置年度	設置目的
生物環境調節センター	昭. 41	学内の生物学関連分野に制御環境を提供するとともに、生物環境調節に関する研究を推進する。
熱帯農学研究センター	昭. 50	本学における熱帯農学に関する研究及び教育を行う。
アイソトープ総合センター	昭. 55	アイソトープ関係の教育研究を行うとともに、アイソトープの安全管理を総括し、アイソトープを利用して教育研究を行う教員その他の者の共同利用に供する。
中央分析センター	昭. 57	本学教員その他の者が研究教育上必要な分析及び試料作成を行う。
留学生センター	平. 4	外国人留学生に対する日本語、日本文化・日本事情等の教育及び修学・生活上の指導助言を行う。また、海外留学を希望する学生に対する修学・生活上の指導助言、留学生交流の推進に関する業務を行う。
総合研究博物館	平. 12	学術標本の収蔵、分析、展示・公開及び学術標本に関する教育研究の支援並びにこれらに関する調査研究を行うとともに、学内外の教育研究活動に寄与する。
システムLSI研究センター	平. 13	システムLSIの応用・設計・製造・検査に関する技術を総合的に研究し、その学問体系の確立と高度情報化社会における当該技術の利用について調査研究を行う。
宙空環境研究センター	平. 14	宙空環境変動(宇宙天気)の予報や宇宙ゴミの警報などの実用化に向けた新しい宙空環境科学の創成のための調査研究を行う。
韓国研究センター	平. 14	韓国を中心とする朝鮮半島地域の学際的で総合的な研究を行うとともに、国内外の関連研究者との共同研究をコーディネートし、韓国研究の結節点として機能する。
医療系統合教育研究センター	平. 15	医学、歯学、薬学及び保健学の分野の教育における共通基盤教育(以下「医療系統合教育」という。)に関する研究を行い、その改善充実に資するとともに、医学部、歯学部及び薬学部が行う医療系統合教育に係る企画及び実施を支援する。
高等教育開発推進センター	平. 18	高等教育に関する研究開発を行うとともに、全学教育、学府共通教育、教育プロジェクト等の実施及び推進並びに入学者選抜方法、学生生活・修学支援等の開発、企画及び実施を行うことを目的とする。
超伝導システム科学研究センター	平. 15	超伝導システム科学に関する基礎から各種情報、エネルギーシステムへの応用までを目指した研究・教育を包括的に行う。
感性融合創造センター	平. 15	仮想環境創造教育研究部門、実体環境創造教育研究部門、感性情報応用創造教育研究部門及びデザイン・アーカイブ教育研究部門の4つの教育研究部門からなり、芸術的感性の諸科学への融合による新しい価値の創造と有為な人材の育成を目的とした教育及び研究を行う。
産学連携センター	平. 15	本学と産業界との研究協力及び学術交流を推進するとともに、地域社会への貢献に資することを目的とする。
超高圧電子顕微鏡室	昭. 50	電子顕微鏡(電顕)観察用試料の作製、電顕写真並びにデータ処理を行う等超高圧電顕による研究を推進する。
特殊廃液処理施設	昭. 57	本学の教育研究活動によって発生する無機系、有機系廃液及び固形廃棄物を適正に処理する。
西部地区自然災害資料センター	平. 元	九州地区及び山口県における自然災害に関する資料を収集・整理し、本学の教員その他の者の求めに応じて資料を検索・提供するとともに、自然災害に関する研究を行う。
電離気体実験施設	平. 2	電離気体に関する実験・研究を行う。
大学文書館	平. 17	本学に関わる法人文書等の資料を収集・整理・保存し、大学及び大学の歴史に関する調査研究を行うとともに、その資料を、学生、職員その他一般の利用に供する。
ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー	平. 8	本学の大学院において、ベンチャー・ビジネスの萌芽ともなるべき独創的な研究開発を推進するとともに、高度の専門的職業能力を持つ創造的な人材を育成する。
アドミッションセンター	平. 15	アドミッションオフィス方式(総合評価方式)入学試験の実施を行う。
水素利用技術研究センター	平. 16	水素の製造・供給、利用及び安全評価に関する技術を総合的に研究し、その学問体系の確立と、環境と調和した高度エネルギー利用社会における当該技術の利用について調査研究と技術の確立を行う。
未来化学創造センター	平. 17	未来化学の拠点として、ナノテクノロジー、フォトニクス及びバイオテクノロジーを基盤とした新産業創出のための新規化学技術に関して集中的かつ有機的連携のもとで研究を推進し、その学問体系の確立と未来社会における化学技術の利用についての調査研究及び応用技術の確立を行う。
バイオアーキテクチャーセンター	平. 17	生物機能の解析、高度活用及びデザインに関する技術の総合的な研究開発を行い、生物機能デザイン等の技術に基づいた物質生産プロセスの開発拠点を構築するとともに産官学連携を推進する研究開発の場を提供し、社会・産業へ貢献する。
鉄鋼リサーチセンター	平. 17	鉄鋼の製造技術や新しい材料開発に関連して、大学と企業が共同で解決すべき課題について産学連携で取り組み、得られた研究成果を実際の鉄鋼生産に結びつけていくための国家プロジェクト研究や大型プロジェクト研究に展開させる。
デジタルメディスン・イニシアティブ	平. 17	生命情報学とコンピュータモデリング(ドライ研究)を積極的に導入し、要素情報を多次元(生化学、電気、機械等)、多階層(遺伝子、分子、細胞、組織、固体)の生体システムとして再構築し、シミュレーター・デジタルペイシエントの開発を行う。
アジア総合政策センター	平. 17	経済的な発展と国土の開発が進む現代アジアを総体的に捉え、政府、自治体、企業、市民社会に対し、有益かつ有効な政策提言の行える調査・研究を行う。
低温センター	平. 18	低温実験等に不可欠な液体ヘリウム、液体窒素等を安全かつ安定的に供給するとともに、寒剤利用者に対する保安教育及び寒剤利用者の低温実験等の支援を行う。
産業技術数理研究センター	平. 19	数学と他分野との融合研究を実施するとともに、産業界と連携して研究交流及び人材育成を推進する。
加速器・ビーム応用科学センター	平. 19	量子ビームを安定的に供給し、量子ビームの利用者に対する教育研究上の支援及び安全教育を行うとともに、加速器及び量子ビームに係る研究開発を行うことを目的とする。

■情報基盤研究開発センター

設置年度	設置目的
平. 19	研究,教育等に係る情報化を推進するための実践的調査研究,基盤となる設備等の整備及び提供その他専門的業務を行う。

■健康科学センター

設置年度	設置目的
昭. 53	健康科学に関する研究並びに保健及び体育に関する教育を行うとともに,職員,学生等の健康管理及び体育指導に関する専門的業務を行う。

■機構

機構	設置年度	設置目的
産学連携推進機構	平. 10	知的財産本部,産学連携センター,ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー及び各部局が連携して,全学的な立場で産学連携を推進するシステムであり,本学の研究成果を社会に還元するとともに,産業界等からのニーズに関する情報,支援等を受け入れ,本学の教育研究の高度化・活性化に資する。
高等教育機構	平. 18	本機構は,総長を機構長とし,大学の総合的な教育活動に関する事項について,企画・支援等を行う「教育改革企画支援室」と学部教育及び学府教育の共通に係る教育,教育改革等,入学者選抜方法,学生生活支援等に係る実施・推進並びに高等教育等の研究・開発を行う「高等教育開発推進センター」で構成する。
高等研究機構	平. 13	学術研究の将来戦略の策定及びCOE研究として相応しい多様な研究グループの組織化を推進する。
国際交流推進機構	平. 14	学術の国際交流の推進,学生の海外留学及び外国人留学生受入れ等の推進,アジアの総合研究等の推進の企画及び実施を円滑に行う。

■推進室等

推進室等	設置年度	設置目的
国際交流推進室	平. 14	戦略的国際交流プロジェクト等の企画・立案を行うとともに,総長のリーダーシップのもとで,国際交流活動推進するための調整的機能を担う。
研究戦略企画室	平. 14	本学の戦略的研究企画を機動的・積極的に推進し,研究の活性化,高度化,個性化を図るとともに,関連委員会の任務を支援する。
教育改革企画支援室	平. 18	本学の教育改革の構想を機動的・積極的に推進し,教育の高度化,個性化,活性化に資するとともに,高等教育審議会等の任務を支援する。
社会連携推進室	平. 15	本学の社会連携の窓口として,社会連携推進戦略の原案作成,社会連携連絡協議会・自治体等との連絡調整,社会連携に関する情報の収集及び提供等に関する業務を行う。
知的財産本部	平. 15	知的財産の創出,取得,管理及び活用を総合的・戦略的に実施し,産学連携を推進する。
大学評価情報室	平. 16	評価及びマネジメントに資する基礎情報の調査・収集・分析による点検・評価活動への支援及び「大学評価情報システム」に関する業務を行う。
新キャンパス計画推進室	平. 16	新キャンパス計画の推進を支援する。
安全衛生推進室	平. 16	安全衛生の推進を支援する。
男女共同参画推進室	平. 16	男女共同参画の推進を支援する。

■戦略的研究拠点育成プログラム(文部科学省科学技術振興調整費)

名称	採択年度	目的
ユーザーサイエンス機構	平. 16	大学における研究が専門分化しすぎて人々や社会の抱える問題に即応しにくくなっていること,特にユーザーから乖離してしまっている現状に着目し,かねてから大学における研究の課題となってきた縦割りの研究組織を革新して,横断的かつ柔軟なプロジェクトを誘発し,推進することを目的とする。また,大学院「感性学府ユーザーサイエンス専攻(仮称)」の設置により,「ユーザー」の視点をもって感性と技術を融合する研究・開発をコーディネートし,推進していくことができる人材の育成を目指す。

歴代総長/
運営組織

役員等/
経営協議会
委員

教育研究評
議会評議員

沿革

学府・研究
院制度に
ついて

大学の組織

部局長等

教育研究
組織

学生定員
及び在籍
学生数

入学状況

学位取得
者数等

学部卒業
大学院修了
後の状況

教職員等

社会との
連携

国際交流

収入・支出

土地・建物

伊那
キャンパス

建物配置図
及び
部局所在地

諸施設

案内図